

3 トーンカーブ

トーンカーブとは、補正前の画像と補正後の画像のデータ値を表したグラフです。線の角度やカーブを変更することにより、明るさやコントラスト、カラーバランスを調整できます。

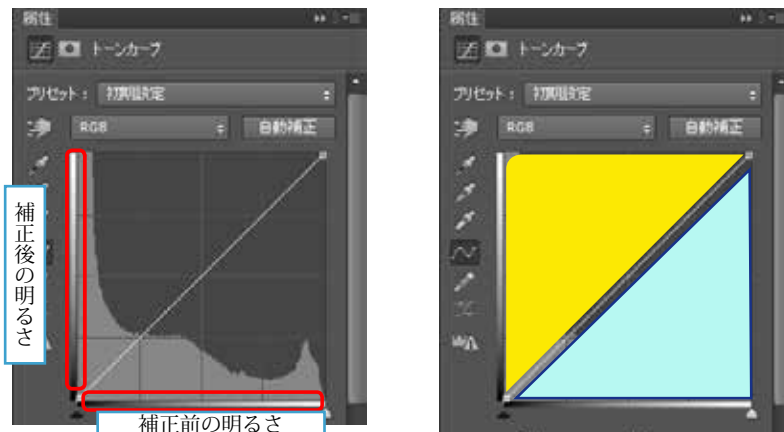
▼ 【トーンカーブ】を行って画像を明るくします

"03-06.jpg"を開いて、画像を明るくしましょう。

1. [色調補正] パネルの [トーンカーブの調整レイヤーを新規作成] をクリックします。



2. [トーンカーブ] の設定パネルに切り替わります。



Point トーンカーブ

トーンカーブは、画像の色情報を各チャンネルと全体の画像について、現在の画像の値 (255 階調をもつ横軸) と変更後の画像の値 (255 階調をもつ縦軸) のマトリクスによってカーブの形状を変更しながら調整します。初期値は右上がりの 45 度の直線で、補正前と補正後は同じ状態です。

CS4 以前 トーンカーブ

[イメージ] メニューから [色調補正]-[トーンカーブ] を選択します。

Point 画像内をドラッグして調整する



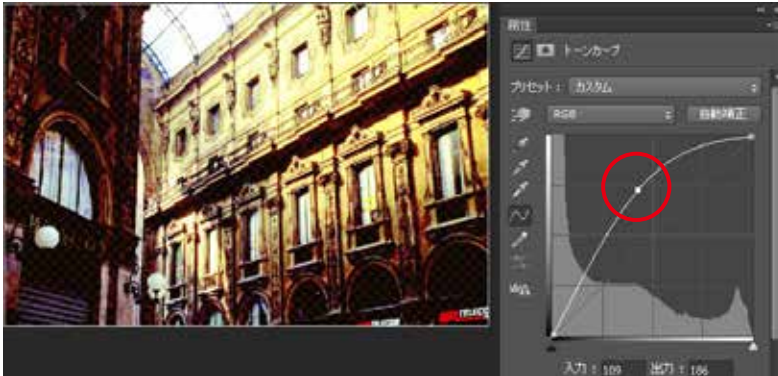
上記のボタンを押した状態で、画像内をクリックし、クリックしたピクセルを基準に上下左右にドラッグしてカーブを調整できます。

TIPS!

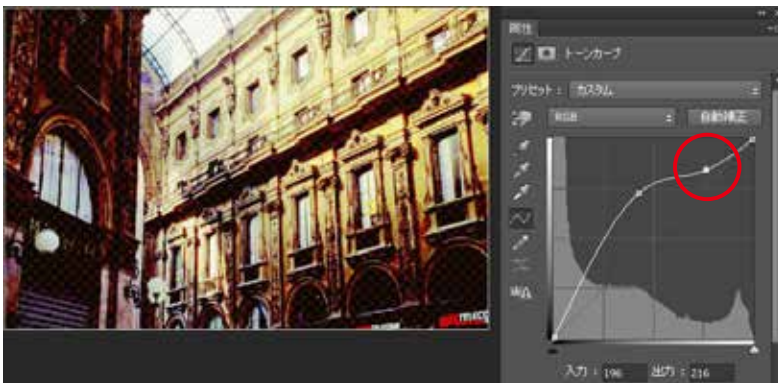
トーンカーブについて

補正前のデータ値 (入力値) に対する補正後のデータ値 (出力レベル) を直線、あるいは曲線で表し、カーブを調整する値を入力することで画像の色調を補正します。縦軸は画像の補正後の明るさ、横軸は補正前の明るさを示します。右斜め 45 度の直線は修正前と修正後のデータに変化がないことを示します。線をドラッグして傾きや曲がりを変えて、明るさや色調を補正します。直線から上 (黄色) の部分は明るく、下 (水色) の部分は暗くなり、元の直線から離れるほどに変化は大きくなります。カーブは微妙に加減することで細かな調整が行えます。カーブにはいくつかの基本的なパターンがあり、代表的なものは、「S 字型」と「逆 S 字型」です。「S 字型」は暗部はより暗く、明部はより明るくしてコントラストを強くします。「逆 S 字型」は暗部はより明るく、明部はより暗くしてコントラストを弱くします。

3. トーンカーブの中央をクリックして、上へドラッグします。画像の様子を見ながらちょうど良い位置を探します。ドラッグした箇所に固定点ができます。



- 4.3. で作成した固定点の上に、もう1つ固定点を追加します。明るくなりすぎた部分の明度を下げて、コントラストをはっきりします。



5. ブルーのチャンネルを補正して、全体に青みを設定します。



練習 3 "03-07.jpg" を開いて、トーンカーブで画像補正しましょう。

1. 写真を明るくしましょう。
2. 写真を暗くしましょう。
3. コントラストの高い、はっきりとした画像に修正しましょう。

色調補正にはさまざまな方法があります。ヒントを参考に、画像を補正しながらバリエーションのある画像を作成しましょう。

Hint3 補正前の状態を確認

[色調調整] パネルの下部のボタンを長押しします。



Memo

トーンカーブ上のポイントは最大で16個まで追加することができます。不要なポイントは、選択されている状態で [Delete] キーを押すと削除できます。変更したカーブを初期状態に戻すには [初期設定の色調補正に戻す] ボタンをクリックします。



Hint5

チャンネルを「ブルー」に切り替えて、トーンカーブを上方向にドラッグします。



1
2
3
4
5
6
7

APPENDIX